



【よく見ると、手を合わせたこの人の表情は真剣そのもの、一体何を願っているのか】

ここはエラワン廟、近くに有名なセントラルワールドやサイ アムパラゴン等があり、バンコクでは最も賑やかな場所の一角にある。

そこで、見つけたのがこのタイ舞踊。

「こんなところで見られるなんてラッキー」と、近くによって撮影したのが、この一枚である。

今日は何かのお祭りかな、と、そのとき思ったものだが、あとで調べると、通常に行われているヒンズー教の奉納で、参拝者の願いが成就するよう踊ってくれているのだ。

ここでの願いは、よく叶う、とバンコクでも評判のパワースポットであるよし。

そう言えば、順番の長い列が出ていた。

奉納舞踊は有料で、踊り子の数で値段も決まっており、外国人でもOK。
因みにこの写真の踊り子は4人いたから360バーツ（約1500円）也。

よし、今度行くときはジャンボ宝くじを持参し、7億円を頼んでみよう。

【参考】

この廟に祭ってあるのは東西南北に向け4つの顔を持つヒンドゥー教のブラフマーという神様。

この神様を祭る祠（ほくら）はタイのいたるところで見られる。

タイはインド文化の影響を受けてきており、仏教とヒンドゥー教が混在しているのである。